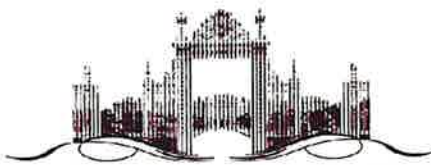




こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

2011～2012 年度

国際ロータリーテーマ：カルヤン・パネルジー会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

NO.1187 / 2012. 6.29

東京赤坂ロータリークラブ

例会日/毎週金曜日12:30

例会場/ANAインターコンチネンタルホテル東京
Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel /03-3505-5976 Fax/03-3505-6004

E-mail/ akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

URL /http://www.akasakarotary.com/

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「未来に向かって広げよう心の絆 赤坂ロータリークラブ」

2011～2012 年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ/高須康有会長

●本日の例会 / 2012 年 6 月 29 日 第 1214 例会
2011～2012 年度 最終夜間例会・打上げ会
(18:30～21:30)

最終夜間例会

「退任のご挨拶」

会 長	高須 康有
副会長	庄司 泰典
幹 事	尾上 寛

打上げ会

高島みほ氏 JAZZ ボーカル &
赤坂カルテット+による発表

各委員会活動もご多忙の中、皆様手分けして活動していただき、ありがとうございます。当クラブの財政面や会員増強等の課題を残したままで、次期の尾関年度にバトンタッチとなり、申し訳ありません。微力ながら引き続き努力いたします。

終わりに、至らぬ会長でありましたが、庄司副会長、尾上幹事、理事役員の方々、25 周年実行委員会 大日方委員長をはじめ委員会の方々、会員の皆様、事務局の益子さん、全ての皆様からの絶大なるご支援、ご協力のお陰であり、心から感謝とお礼を申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

「退任のご挨拶」

会長 高須 康有

本日をもちまして、今年度の最終例会となりました。会員皆様の多大なるご支援をいただき、何とか1年間、会長職を務めさせていただくことができました。心から感謝申し上げます。

何はともあれ、この日を迎えられましたことに、ホッとしております。今年度は、我がクラブの創立 25 周年の大切な節目の年度でありました。一方、昨年 3 月に発生しました東日本大震災により未曾有の大被害を受け、大変厳しい状況下の中での年度スタートとなりました。年度始めの準備期間も無い中で、各委員会に対しては、ご無理をお願いしご負担をお掛けしましたが、快く対応いただき、感謝の限りでございます。

クラブテーマを「未来に向かって広げよう心の絆 赤坂ロータリークラブ」としました。震災後の厳しい状況を、少しでもクラブとして復興支援できる奉仕をしていこう、また、我がクラブを次への 30 周年 40 周年へとクラブの発展に繋げていかなければならないという思いであります。お陰様で、25 周年記念事業を復興支援とすることにし、「陸前高田 市民癒しの公園」並びに高田松原再生支援として「松苗木第 2 補植場」の建設贈呈することに致しました。当クラブだけでは支援規模も大きく、南 RC、西 RC、中央 RC、中央新 RC 様にもご協力いただき、5 クラブ合同プロジェクトとして実行することができました。

昨年 6 月に被災地である陸前高田を会員 8 名が視察以来、現地ニーズを生かしたよい奉仕ができたことは、大変素晴らしいことと思っております。12 月に開催しました、創立 25 周年記念式典・祝賀会は 100 名を超える多くの皆様にご参加いただきました。特に姉妹クラブの韓国公山城 RC のの方々、被災地から水沢東 RC、陸前高田 RC のの方々と共に、盛大な中にも赤坂 RC らしい式典祝賀会ができたと思っております。それぞれ、会員の皆様同志が協力し合い、ご準備にあたられた賜物であります。心から敬意を表し、感謝申し上げます。又、

「退任のご挨拶」

副会長 庄司 泰典

まず冒頭にクラブ創立 25 周年の高須年度で、副会長と言う要職をやらせて頂いたことは私にとって大変光栄であると同時に、厚く感謝を申し上げる次第でございます。指名委員会の方から副会長就任の要請があった時は、快くお引き受けの返事をしたのですが、その後、大変な責任を感じた事が昨日の様に思いおこされます。

年度に入ってからの大仕事はまず前半の 25 周年記念式典を無事に成功させることとございました。この成功の為に「25 周年記念式典実行委員会」が作られて、橋本副委員長の綿密なるご努力と実行力によって成功裏に終わらせることが出来ました。ガバナー、ガバナー補佐、近隣クラブの会長、被災地の RC や韓国の公山城 RC から多くの招待者や参加者が集まり、盛大な記念式典が成功裏にとり行われました。後半の大仕事は尾関社会奉仕委員長のご尽力によって、企画実行された東日本大震災支援行事であります。これは日本委員会 350 万円、地区 RC 財団 210 万円、各クラブ持ち出し金 140 万円（赤坂、中央、中央新、南、西）計 700 万円合同プロジェクトとしてスタートし、当クラブでは「創立 25 周年記念事業」として、理事会で決定された。そして現地陸前高田 RC、サポートクラブである水沢東 RC の努力の結果、2012 年 4 月末日に概ね「市民癒しの公園」仮設住宅集会場、及び「松苗木第 2 補植場」が完成し、5 月 13 日の落成贈呈式は当クラブ高須会長以下 14 名が参加し、他クラブからも 8 名が参加して盛大に行われました。

私も今年で RC に入会して 14 年目に入りました。過去に創立 20 周年の時に「赤坂見附駅前時計塔」の建設に参加した経験があります。この 25 周年記念事業は世の為、人の為になる大仕事であり、「赤坂見附駅前時計塔」と共に、忘れられない社会奉仕事業として、私の心の中に今後ともに残って行くと思っております。

以上前半と後半の記念行事について記しましたが、他

本年度第6回・次年度第1回クラブ協議会

(と き) 2012年6月22日(金) 13:10~14:30

(と ころ) ANA インターコンチネンタル東京 B1F「オーロラ」

(出席者) 高須、庄司、松本、秋吉、穂苅、田村、入沢、橋本、河邊、佐藤、岡澤、吉岡、吉田、西澤、小林、村山、石井、岩上、飯島、清水、尾関、尾上

(順不同・敬勝略)

<本年度活動報告>

高須会長：今日は、本年度最後の新年度第1回目のクラブ協議会にご出席いただきありがとうございます。本年度は、各委員会を掛け持ちで委員を受け持って頂き、感謝申し上げます。これから各委員会より報告をしていただきますが、尾関年度へ良い形で引継ぎができればと思います。よろしく願い申し上げます。

プログラム委員会：(西澤委員長) 卓話者を約30名お呼びいたしました。金額は約65万円となるべく費用をかけずに行ってきました。

クラブ会報：(村山委員長) 委員は例年の半分の6名で始めたため、1人の負担が大きかったかと思いますが、1年間発行できないという日がなく何とか活動してきました。誌面については、庄司さんが書いてくださった「めんぼう」で助かりました。週報は、会員同士の繋がりを持たせる一つのツールだと思います。

SAA：(秋吉副委員長) 年度始めに計画したことで出来ていたこととして、伝統を引き継ぎ、明るく楽しく、秩序正しい品位ある例会運営を目指すということ、月単位の責任者が会場運営を指揮する、メールで当番をお知らせする等。あまり良く出来なかったこととしては、ホテルの方と協力して食事内容の向上ということでは、これは次年度へ引継ぎたいと思います。

ソングリーダー：(岩上委員) 今月の歌の選曲については、さまざまな意見があるようですので、次年度の入沢委員長へ期待したいと思います。

親睦活動委員会：(清水委員長) 報告書にも書いてありますが、例会出席者が限定されているため、担当を決めても予定通りではないことが多かった。火曜会については、15名の確保をしなければならぬため結構大変です。「ゆうもあ会」ができなかったのが残念ですが、次年度へお願いできればと思います。

会員増強委員会：(石井委員長) 本年度は5名の方が入会いただきました。会長、幹事より10名の増強ということについては、達成できませんでしたが、次年度へ期待したいと思います。

ロータリー情報委員会：(入沢委員長) 情報の発信が少なかったことを申し訳なく思っております。委員の仕事としては、新会員へのロータリー情報の説明を行ってきました。

職業奉仕委員会：(飯島委員長) 上期のインターンシップは、秋吉さんの大きな協力があり、多くの学生の受入ができました。下期は、尾上幹事の協力でクラブ協議会で、職業奉仕の理解を深めることができました。

ロータリー財団委員会：(吉田委員長) 寄付の内訳を説明します。年次寄付5,000ドル(100ドル寄付40名、高須会長のポールハリスフェロー1,000ドル)、尾上幹事のベネファクター1,000ドル、ポリオ指定寄付1,000ドル。合計では、7,000ドル目標に対して、6,012ドルの実績で、達成率は約86%です。

国際奉仕委員会：(田村委員長) ほぼ活動計画通りです。明日から最後の姉妹クラブの公山城RC訪問ですが、よろしくお願い申し上げます。

にもプログラム委員長の西澤さん、増強委員長の石井さん、親睦活動委員長の清水さんの活躍など各委員長、委員の活躍に支えられて無事に滞りなくクラブ運営が出来たことを厚く感謝する次第です。

最後になりますが、高須会長と尾上幹事には大変お世話になり、仲良く仕事をすることが出来ました。東京赤坂RCの創立25周年の行事は今後の私の人生でも忘れられない貴重な思い出として残って行くものと思います。

「退任のご挨拶」

幹事 尾上 寛

本年度幹事を努めさせて頂き、全てのクラブメンバーの御協力で本日の例会を持ちまして恙無く退任の日を迎える事が出来ました事を心より感謝申し上げます。クラブ幹事としてこの1年間クラブ運営のお手伝いをさせて頂き、充実した心地良い気持ちで今は一杯です。至らない幹事で皆様にご迷惑をお掛けしたと思っておりますが、理事・役員・各委員長・委員の皆様の優れた企画活動に助けられ、何とか責務を終える事が出来た事に改めて感謝致します。幹事の仕事は正直大変でしたが、それ以上に得る事が有り、幹事の経験は本当に良かったと感謝致しております。

最後に高須会長・庄司副会長には色々ご指導頂き、事務局益子さんには沢山助けて頂き心より御礼申し上げます。赤坂ロータリークラブが益々発展する事を願いつつ退任の挨拶とさせていただきます。本当に有難うございました。

●前回報告/2012年 6月22日 1213回例会 本年度第6回・次年度第1回クラブ協議会

テーマ：「本年度各委員会活動報告と次年度各委員会活動計画」



親睦活動委員会：(清水親睦活動委員長)

親睦旅行会ご参加の方、ありがとうございます。二次会の追加、早退の返却等の清算を事務局が行いますのでよろしくお願い致します。

次年度親睦活動委員会：(村山親睦活動委員長)

本日ボックスに7月3日(火)の火曜会の御案内を入れました。多数の参加をお待ちしております。

慶事披露：誕生祝

西澤民夫君 (6月17日)



出席報告： 会員44名/出席26名・欠席18名

ビジター： 岡村健(福岡南RC)、羽佐間道夫(東京南RC)
計2名(順不同・敬称略)

クラブ広報委員会：(松本委員長)「ロータリーの友」に当クラブの東日本大震災支援活動について掲載されました。個人情報の漏洩を防ぐため、村山会員による会員のみがログインできるページを開設できました。

小林会計：数字だけのことを言うと、新会員の増員が第一。支出の面では、予算管理は的確であるといえる。例会費用に切り込まざるを得ないが、食事の件などの課題を次年度へ申し送っている。今年度も昨年度同様、基金会計から一般会計への繰入れをしなくてはならない状況です。

尾上幹事：これで本年度の活動報告を終わりたいと思います。次年度よろしくお祈りします。

<次年度活動計画>

飯島次年度幹事：それでは尾上幹事よりバトンタッチいたしまして、次年度の活動計画へ移りたいと思います。まずは尾関次年度会長の活動方針についてお話いただきたいと思っています。よろしくお祈り申し上げます。

尾関次年度会長：活動方針を述べることもそうですが、西澤年度にいい状態でバトンタッチすることも使命だと思っており、派手にはならず堅実にやっていきたいと思っております。3月に行われた PETS から、すでに次年度が動き始めました。東京のどのクラブにも共通して言えることが、財政基盤が弱い、退会者が多いということです。我クラブの次年度のテーマは「僅かなことにも手を差し伸べよう、そして信頼と絆」です。“僅かなことにも”これは外に向けての姿勢でもあり、奉仕の精神というのを平和へ繋げていくという田中 RI 会長のテーマとリンクさせており、僅かなことにも手を差しのべる奉仕の精神ということを我がクラブのテーマとして掲げました。“信頼と絆”はクラブ内に向けてのテーマである。会員数の問題というより、質の問題をいって、ロータリーに対する愛情、貴重な時間とお金を使っていることから自分が満足するクラブライフを求めているかなければならない。それが結束して、赤坂 RC は、いいことやっているというような存在感が他クラブ間で、社会で、認められるのではないかなと思う。会員同士の信頼、助け合いが必要という考えをもって掲げました。また、戦略計画の見直しを行なっていきます。佐久間ガバナンスは、単年度から連続性へ転換してほしいと思っております。これは西澤年度につなげていくことにも関係しております。では何を西澤年度につなげていくかという財政基盤の強化、そして皆様満足できる楽しいクラブをつなげていきたいと思っております。2番目が会員参加のクラブ作り。火曜会、例会にしても出席が思わしくありません。積極的に参加している会員の皆様が、SAA に任せるのではなく、一人一人声をかけていこう、ということを考えていきたい。例会運営の工夫も必要なのかと考えている。4回の例会のうち1回は、もっと打ち解けたスタイルに変えていきたいと考えており、それにより、例会費用の削減にも繋がると考える。例えばアフタヌーンティーのようなスタイルにするなどを変えることも必要だと考えている。小林次年度 SAA リーダーを中心に準備していきたいと思う。奉仕活動の見直しは、1つのところに集中するのではなく、新規の取り組みについても考えていきたい。中身をステップアップしていこうと思う。皆様もご協力をよろしくお祈り申し上げます。

クラブ運営委員会：(清水委員長) 副会長でもあり、クラブ会報、SAA、ソングリーダー、プログラム、親睦

活動と5つの委員会のまとめをします。RIのテーマは「奉仕を通じて平和を」地区のテーマは「楽しもう」となっております。テーマというのは、例えば「楽しもう」というのは楽しんでないから、このようなテーマになる。IBMにいたとき「スピード」というテーマが続きました。これは社内のアクションなどが遅いからこういったテーマになる。だから、次年度会長がおっしゃるように、まずベースになる例会を楽しむことが大切である。5つの委員会が例会に直接関係していることからそこをしっかりと補うことと、楽しく身のある例会になるための運営をしていきたいと思っております。

クラブ会報委員会：(岡澤委員長) 簡単ではありますが、今年度と同じ形でやっていきます。会報はコミュニケーションのツールの1つだと思いますので、毎週の会報をきちんとこなすことだと思います。滞りなく、村山様にお聞きしながらやっていきたいと思っております。よろしくお祈り申し上げます。

SAA：(小林リーダー) 例会の活性化ということで、例会食事の内容についても変化させていきます。月3度はホテルメニューを導入し、手配個数を調整することで本年度よりも食事費用がUPしないようにしていきたい。本年度の竹本委員長が行っていた、委員の方々への“担当の御案内”については、踏襲していきたいと思っております。係りをやっていただくことで、少しでも例会の出席につながればいいなと思っております。長い目でみますと、火曜会の活性化について9月末を目途に、従来にとらわれない方法で変えていくことを理事会へ提案していきたいと思っております。今の段階では明確に申し上げられませんが、変えていきたいと思っております。よろしくお祈り申し上げます。

ソングリーダー：(入沢委員長) 次年度は、歌集を新しくいたしました。副委員長に頼りになる清水さん、委員としましては、ベテランも新会員の方もおりますので、楽しみにしておりますし、楽しくやっていきたいと思っております。よろしくお祈り申し上げます。

プログラム委員会：(岩上委員長) プログラム委員長として、1つ提案がございます。娘の情報ですが、六本木ヒルズで若い世代の方が、朝 09:00~10:00 まで、1人10分間のスピーチを行うという会があり、1時間で6人が行うというものである。インニシエーションスピーチを終わられたばかりの方は別にして、10分くらいは、話したい方もいるのではないかなと思う。2~3ヶ月に1回くらいは、ベテランの会員の皆様の10分間スピーチを企画して30分で3人ということをやりたいと思っております。よろしくお祈り申し上げます。

親睦活動委員会：(村山委員長) 計画書には例年の通りのことを記載しております。親睦の行事として行っているものを書いてあります。親睦と奉仕は車の両輪のようなものであるが、親睦は英語ではフェロシップである。日本で代表される親睦は、飲み会とかの場と考えられているところもあり、それが親睦の重要な活動と考えられてしまう。しかし、フェロシップの役割は、同じ場所に集まり、心をかよわせるという意味になる。親睦はそれ上手くいくように潤滑油のような役割だと考えており、そこを目指していきたいと思っております。核なるものは例会であり、これは、しっかりとやっていきたいと思う。皆様のご協力を賜りながらやっていきたいと思っております。よろしくお祈り申し上げます。

会員増強委員会：(西澤委員長) メンバーを見ていただくのとわかるのですが、外国人を全部入れました。外国人を沢山入れて、エキサイティングなクラブを目指し、会

員数 50 人くらいを目指してやっていきたいと思ひます。皆さんのご協力をお願いしたいと思ひます。

研修委員会：(入沢委員長) 研修委員は、ロータリーの情報を提供することが仕事だと思ひます。ロータリーに精通している村山さん、橋本さんをメンバーとして、お二人の力をかりまして、しっかりと研修委員会の仕事をまっとうしていききたいと思ひます。よろしくお祈り申し上げます。

職業奉仕委員会：(田村委員長) 4月11日に2750地区の研修リーダーの教育がありました。そこでインターンシップは社会奉仕であるというところでしたが、連動するということで、活動に入れたいと思ひます。西澤さんの主催している「ローマの市場にて」に参加して、若い世代の経営者と交流していこうと思ひます。よろしくお祈り申し上げます。

社会奉仕委員会：(橋本委員長) 社会奉仕委員会の活動方針については、RI テーマが「奉仕を通じて平和を」であり、この理念を最大限理解して社会奉仕活動を実施する。職業奉仕の理念についての議論はしているが、社会奉仕の理念については議論されたことがないので、それをやっていきたい。当クラブの戦略計画では5つの価値観と3つの優先事項を打ち出しているが、奉仕活動がクラブの活性化に密接に関わっていると思うので、認識をもってやっていきたい。戦略計画のなかに、人道的奉仕の重点化と増加がある。これはポリオ撲滅等に代表されているが、他クラブとの合同プロジェクトで推進している東日本大震災復興支援は人道奉仕の一環として特命的に取り組む事項と考えます。手続要覧の社会奉仕の定義を理解し、地域のニーズ調査及び、資金や人材の提供を含めた地域社会の参加を求め、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるための活動、継続プロジェクトを委譲し、新しいプロジェクトにチャレンジということも盛り込んでいきたいと考えている。特命的なプロジェクトを推進としては、東日本復興支援、風の子会と連動してブータン国に身障用のワゴン車を寄贈検討(マッチンググラウンド活用検討)、地区クラブ支援社会奉仕委員会にアドバイスを頂きながら、実のある奉仕活動を展開していきたいと思ひます。具体的な活動計画としては、「地域社会調査担当委員会」では、地域のニーズを調査、地域のニーズについては当年度達成を目指す、次年度に継続しても良いと思ひますし、セミナーの開催などを考えている。「環境保全担当委員会」は、港区防災マップをリニューアル(最新版の作成)、補助金申請を検討、地区社会奉仕委員会に卓話を要請し、アドバイスをいただいてもいいのではないかとと思ひます。「新世代担当委員会」は職業奉仕委員会と連動してインターンシップの展開、RYLAセミナーの参加を考えております。特命推進事項としては、東日本大震災復興支援合同プロジェクトの後フォローとチェックの実施を陸前高田RC、松原を守る会と連動してやっていきたい。水沢東RCの復興支援している大船渡網川地区へ寄付した集会所の後フォローとチェックを行いたい。継続実施事項としては、風の子会「障害者と外に出よう」活動に参加、風の子会への寄付を実施(100,000円)、泉の家への寄付を実施(20,000円)チャリティーバザーの収益金を充当していきたい。港区民まつりに寄付を30,000円。予算においては、ニコニコからは50%の600,000万円を地域社会活動に使わせていただきたいと思います。ニコニコの本来の活用は奉仕

活動にあてるといふことですので、是非ともお祈りしたいと思ひます。奉仕を寄与していきたいと思ひますので、是非とも皆様にもご協力をお願いいたします。

国際奉仕委員会：(松本委員長) 来年度は、ポリオの寄付などが活性化するのではないかとと思ひます。麻布RCの清原さんから、ポリオについての卓話依頼の話が出ていたりしています。公山城RCとの交流も図っていききたいと思ひます。

ロータリー財団委員会：(岩上委員長) 寄付についてはポリオプラス、ベネファクター、年次寄付等よろしくお祈り申し上げます。地区R財団のお話ですが、マッチンググラウンドをやる、地区補助金を申請してやるとかという場合、9月くらいには予算なくなってしまう。マッチンググラウンドや地区補助金申請は、早め早めで計画して、今からでしたら次年度の会長(西澤さん)の時に実施するプロジェクトを決めたほうがいいのではないかとと思ひます。

公共イメージ：(岡澤委員長) 会報はクラブの方への発信、公共イメージは、「友」など外への発信と理解しております。おそらく何名かの方には、原稿をお願いすると思ひますので、よろしくお祈り申し上げます。

会計：(石井会計) 財政的には厳しいと思ひます。財政を立て直すには、増強だと思ひます。先ほど岩上プログラム委員長もおっしゃっていましたが、卓話の時間に会員の方にもお話をさせていただいたりということは経費削減にもなりますし、メリハリをつけてやっていただければと思う。厳しい状況も続きますが、増強をして財政を立て直していければと思ひます。

閉会の挨拶：(次年度清水副会長) ロータリークラブの良いところは、きちんとした伝統があって上手くやってくことだと思う。それを単年度でやっているのは、基本的な伝統があったからやってこれた。しかし、これでは問題がでてきたので、今回尾関次年度会長より、こだわらずにやっていこうとことになりました。これは数年前にCLP(クラブリーダーシッププラン)を導入し進めてくださいとRIのほうから発信されたのですが、クラブがいいと思ったこと、新しいことを取り入れていきなさい、ということ。例えば、会報と広報が一緒になるとか、卓話についての新しい試みなどは、認められることだと思ひます。伝統を守りながら変えていくことが大切で、参加してこそよさがわかる会にしていきたいと思ひます。本日は、ありがとうございました。



6月22日(金) / 5件 10,000円

累計 1,138,000円

多額の寄付を有難うございました。

高須康有/いよいよ今年度あと2回です。本日のクラブ協議会、皆様よろしくお祈り致します。庄司泰典/尾関さん、ニコニコ担当御苦勞様です。西澤民夫/誕生日を祝っていただき、ありがとうございました。やっと69歳になりました。土屋東一/尾関さんニコニコ御苦勞さまで。尾関武男/本年度最後のニコニコ担当です。皆さん協力ありがとうございました。

●次回予告/2012年7月6日(金) 第1215例会

2012~2013年度 初例会

「就任のご挨拶」

会長 尾関 武男 氏
副会長 清水 實 氏
幹事 飯島 規之 氏